

平成 29 年 3 月 31 日

保護者各位

株式会社ゴーエスト
代表取締役 高堀雄一郎

3 月 28 日に東洋経済オンラインに掲載された当法人の運営に関する記事について

去る 3 月 28 日 (火) に東洋経済オンラインにて当法人の運営に関する記事が確認なく一方的な形で掲載された件について、記事上に事実と異なる内容及び誤解を招く表現が多数含まれていることから、以下書面にて事実をお伝えするとともに各園にて説明会を開催することといたしましたことをお知らせいたします。

記事記載の表現	当法人の見解・事実の説明
悪天候の際に本部スタッフが活動を強要するような指示が常態的に出されているという。	毎日の保育計画は園スタッフが立案・実行しています。当然、その日の天候・気温・子どもの状況に合わせて園スタッフの判断で活動内容を変更する場合があります。園をサポートする本部スタッフは、各園が自律的に質の高い保育を実践してゆくために、施設長同士が集まって業務改善勉強会や成果報告会を行う際に一緒に加わったりアドバイスするなどしていますが、悪天候の際に本部スタッフが活動を強要する指示を常態的に出している事実は一切ありません。(誤った記事です。)
本部の方針と異なる判断をすれば、高圧的な指示を受けたり、場合によっては報復人事がなされることもある。	報復人事を行っている事実は一切ございません。(誤った記事です。)
2 日間の欠勤で診断書を求められた	4 日以上欠勤の場合に診断書を求めています。2 日間の欠勤で診断書を求めたことはございません。(誤った記事です。)
診断書をもとに「自己都合での退職」を求められたようだ。	診断書をもとにした退職勧告を行った事実は一切ございません。(誤った記事です。)
偽装工作の末に認可を得て開園	開園の際に行政から設備の不備を指導されたものについては、これまで当法人が開設してきた全ての園について、開園日までに購入・設置しております。開園までに納品がされるように事前に指示しておりますが、その後で、自治体の検査日が決定することが多いため、検査日に納品が間に合わないことがあります。その際は、近隣園などで余っている同種のを一旦手配し、検査を受けております。検査日前にすでに手配済みのため、予定通りに納品されれば、開園までに納品されますが、万が一、手違いで納品されなかった場合でも検査日に使用した同種のをそのまま使い続けることは何ら問題もなく、偽装工作をした事実はございません。(誤った記事です。) 記事に記載がある「武蔵野どろんこ保育園」での“2 階階段上の転落防止柵について認可前に設置されていたものが現在設置されていない件”ですが、当初一時保育事業を実施するにあたり必要と指摘された備品ですが、その後一時保育事業を実施しなかったため、不要となり撤去したものであり、偽装工作ではございません。 ※2017 年 4 月に新規開園する園についても、全園行政の現地確認の際の指摘事項は本日時点で全て対応済みであり、自治体が最終確認を改めて行っていますので、ご安心ください。

<p>設置工事事業者が複数施設施工の見返りに虚偽報告書作成に加担</p>	<p>報告書は、設計会社・施工会社・施主であるどろんこ会とで協同で作成しており、これは一般的なことで何らの問題も存在しません。ましてや、複数施工の見返りとしての協力ではございません。（誤った記事です。）</p>
<p>翌 2017 年 1 月に消防庁が抜き打ちで監査を行った際に、現場の備品不備の状況が確認されている。</p>	<p>これは抜き打ち監査ではありません。事前にお知らせいただいた通常の定期検査です。また、備品不備等の指摘は一切ありませんでした。（誤った記事です。）</p>
<p>ここ 1 年以内に園児の見失い 2 件、園児の体にあざが確認された。</p>	<p>全て、駒沢どろんこ保育園に於いて発生しました。（事実です。）内容は以下のとおりです。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">見失い① 2016 年 11 月 8 日（火） 11:30 園児見失い発生 （駒沢どろんこ保育園）</p> <p>（11:30）3 名の保育士が 1 歳児 14 名を連れて散歩から帰園後、2 階玄関内に 12 名が入ったが、遅れて階段を登っていた 2 名が玄関内に入らないまま、ドアを締めた。後から、2 名の園児が玄関前へ登ってきたのを別のスタッフが発見し、室内へ連れて入った。</p> <p>（14:00）緊急事故防止委員会を開催し、改善策を話し合う。 （夕方）保護者へ謝罪・説明</p> <p>（当日 11 月 8 日）「世田谷区書式にてヒヤリハット事故報告書」を作成し園でファイリングした。</p> <p>12 月 16 日（金）世田谷区役所の巡回指導で指導員にヒヤリハット事故報告書を提示したところ、「東京都の書式にて事故報告書を作成し直して提出するように」との指示あり、園と本部の情報共有がなされないまま、12 月 19 日（金）に世田谷区へ提出。</p> <p>（再発防止策）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 危機管理マニュアルの理解・励行（行動の移り変わり時の点呼／保育士が互いに人数確認声掛け合い） ● 「ひえ組（1 歳児クラス）散歩マニュアル」を作成し運用開始する ● 本部スタッフの訪問回数を増やすことで日常から情報共有がなされる体制を作る </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">見失い② 2017 年 2 月 6 日（月） 10:55 園児見失い発生 （駒沢どろんこ保育園）</p> <p>（10:55）3 名の保育士が 1 歳児 13 名を連れて駒沢公園内第二球技場前チリリン広場から帰園のため歩き始めた。その際、園児 1 名が集団から離れていることに気づかず歩き始めた。</p> <p>（11:00）近隣住民から園に「園児 1 名が切り株のところにいる」との電話が入る。</p> <p>（11:09）園児を保護</p> <p>（14:00）緊急事故防止委員会を開催し、改善策を話し合う （20:15）保護者へ謝罪・説明</p> <p>（当日 2 月 6 日）世田谷区へ報告／世田谷区指示により東京都の書式にて事故報告書を作成・提出</p> <p>2 月 7 日（火）全施設長で行う全園事故防止委員会を開催し、各園スタッフで行う各園事故防止委員会に向けて話し合う。 2 月 20 日（月）第 1 回保護者説明会を開催 2 月 24 日（金）理事会にて報告</p> </div>

2月27日(月) 保護者説明会での質疑回答書、及び、法人の改善計画書を配布

2月28日(火) 全園スタッフに対し社内イントラネット掲示板にて3月7・8日全園事故防止委員会開催のアナウンス

3月7・8日 全園事故防止委員会開催

3月15日(水) 第2回保護者説明会を開催

(再発防止策)

- 運営課題の洗い出しと是正(4月1日着任予定施設長により、33名のスタッフの業務を確認し、業務割振り・休憩のとり方の見直しを行う)
- 通常の内部監査に加えて、今回の事故を受けた特別内部監査を3月1日に実施
- 法人本部と全スタッフとの面談・改善会議を実施
- 問題意識・危機意識の醸成に向けた研修実施
- 危機管理マニュアルの理解・励行(行動の移り変わり時の点呼/保育士が互いに人数確認声掛け合い)
- 「ひえ組(1歳児クラス)散歩マニュアル」の運用徹底
- 戸外活動への指導体制の強化(施設長が1歳児クラスの散歩に同行し散歩時のマニュアル実施を目視確認/施設長不在時は、0歳児または2歳児リーダー保育士が同行し指導を行う)

あざの件① 2016年4月6日(水) 8:00 登園した4歳男児X母親より「4月5日(火)に男児の腕にあざができていた」と話があった (駒沢どろんこ保育園)

4月6日(水) 8:20 施設長と本部マネージャーがスタッフへ聞き取り実施。保育士Aが「4月5日(火)午睡中に寝ないでふざけていた本児を注意した際に両腕を持ち上げる形で対応し話をした」と認める。本児の話と合致。

(14:00) 緊急事故防止委員会を開催し、改善策を話し合う。

4月6日(水) 17:00 施設長・本部マネージャー・保育士A・担任保育士が母親へ謝罪・説明。

(再発防止策)

- 本件について保育士同士で話し合い、保育中に気づいたことを互いに注意し合うことの合意形成を行った。
- 「児童・保護者の人権に関するガイドライン」にて虐待の定義・してはいけないこと・通告すべきことの再確認を実施した。なお、当法人では、毎年4月・10月に「人権チェック」の自己採点を全スタッフが行っている。
- 保育士A本人には子どもの体を掴まないこと、二人きりになる場面を作らないことを約束した。

あざの件② 2017年1月26日(木) 18:00 お迎えの際に4歳男児Yの母親より「息子は午睡中に寝ないでいたら①と同一の保育士Aにギュッとされた」と言っていた/別の4歳男児Zの母親からも「子どもが言っていることが本当かどうか?不明だったので言わなかったが午睡中に寝ないでいたら保育士Aにギュッとされた」と報告があった (駒沢どろんこ保育園)

1月27日(金) 保育士Aへ聞き取り実施。保育士Aは「自分ではそんなつもりはなかったが、思い当たると思う」

(14:00) 緊急事故防止委員会を開催し、改善策を話し合う。

	<p>1月31日(火) お迎え時に男児 Y、男児 Z の保護者へお詫び・事実説明を行う。以後、保育士 A を保育業務から外し別の業務に当たらせる旨を保護者へお伝えする。</p> <p>2月16日(木) 報告文書掲示・説明会開催について全家庭にお声がけする。</p> <p>2月20日(月) 第1回保護者説明会を開催 ※見失い②と同日開催</p> <p>3月15日(水) 保育士 A 本人希望により退職</p> <p>3月15日(水) 第2回保護者説明会を開催 ※見失い②と同日開催</p> <p>(再発防止策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 運営課題の洗い出しと是正(4月1日着任予定施設長により、33名のスタッフの業務を確認し、業務割振り・休憩のとり方の見直しを行う) ● 通常の内務監査に加え、特別内務監査を3月1日実施 ● 全スタッフとの面談・改善会議を実施 ● 問題意識・危機意識の醸成に向けた研修実施
<p>本部はこの問題を握りつぶそうとした。</p>	<p>問題を握りつぶそうという意図はございません。</p> <p>怪我・事故に関して、行政への報告が必要なレベルのものは全て報告することとしています。</p> <p>法人内事故共有会議である「全園事故防止委員会」「各園事故防止委員会」はそれぞれ月1回開催し、他園で起きた事故を園間で共有しています。「二度と起こさないこと」「速やかなケーススタディ」が重要であると捉え、全園で取り組んでいます。</p> <p>ただし、本件を通じて園と本部間の報告のルール・運用に大きな課題があったことを強く認識しており、保護者を始め関係者の皆様への報告が遅れたことについて、大変申し訳なく考えております。今後は個人のスキル・経験だけに依存・運用していた部分が無かったかの検証も含め組織的な安全対策を実施確認します。</p>
<p>社会福祉法人である以上、自治体への報告義務があるが、虐待疑惑に関して園からの報告はなされていない。</p>	<p>“園児名の呼び捨て”を含む虐待に関する「自治体への報告義務の対象範囲」について、自治体へ確認し、法人として明文化・ルール化することで、必要な報告を漏らさず行うこととします。</p> <p>ただし、本件については、報告対象と考えるべきであったと反省しております。</p>
<p>法人幹部からは、スタッフへの一斉メールで外部や保護者からの問合せに原則対応しないよう、指示が出ている。</p>	<p>そのようなメールは一切しておりません。(誤った記事です。)</p> <p>東洋経済新報社に問合せをした際に、本指摘の証拠として示されたメールは、「外部の方から従業員や利用者の個人情報照会があった際の対応手順」を示したもので、あたかも当法人が隠蔽体質であるかのように表現したことは明らかに捏造であり、抗議に値します。</p>
<p>万全の体制で「取材拒否」を貫こうとしているようだ。</p>	<p>当法人に対する複数回の取材申込があったことは事実ですが、その全てが社名も媒体名も名乗らない取材申込であり、法人内では対応について検討中でした。これをもって「取材拒否」と一方的に決めつけ確認なく記事にすることは遺憾に思います。</p>

このような記事が出回り、保護者の皆様方は、「安心して園に子どもを預けられるのか?」「保育士が退職してしまうのでは?」「偽装や不正が行われているのでは?」と、大きな不安を抱かれています。

前述にある通り、社会福祉法人どろんこ会、及び、株式会社ゴーエストが運営する全ての保育園において本件に関する説明会を4月中を目処に開催する予定です。

開催日時等の詳細については、別途お知らせいたします。